

指示詞・人称代名詞の用法の整理および記号づけ (20210720)

記号は指示詞・人称代名詞の上に付ける (ただし、限定詞の場合は名詞の上、所有格の **its**、**their** ではそれ自身の上に)

指示対象の存在場所	指示対象	this 独立用法	this 限定詞として	that 独立用法	that 限定詞として	単数形の it	it its it 人称代名詞
現実世界 ○	感知される (された) 物・人・こと	Ⓝ	Ⓝ	Ⓝ	Ⓝ	この用法は、ない he, she, they の Ⓝ の用法は 特別な状況で可能	
	既知の (「例の」) 物・人・こと				Ⓝ 「例の」		
	紹介・電話における 人 確認したり尋ねたりも	Ⓝ紹介 複数でも this This is A and B.		Ⓝ紹介 複数でも that That's my parents.			
	状況から特定される 物・人・こと					?	
	環境・状況・光景 天候・時など	○ 時を表す This is ... 今(今日)は... ○様子 like this	○ 時を表す this time these days ○様子 this way	○ 時を表す That was ... その時は... ○様子 like that	○ 時を表す that night those days ○様子 that way		○ ○機会 ○情報 it says ...
意識・心 ♡	話者の意識・心にある 物・人・こと					♡	
文章・やりとり T	ディスコース における言葉			D, D(T, 指示対象)			
	文章・やりとり (Text) に含まれる 内容	T 話題を指す >T 後述の話題		CI 節の内容を指す		T (+♡) 主語では、まれ >T, >N ♡>that ... it seems that ... ♡>as if ...	この用法は it すなわち 単数形で 主格・目的格 に限られる
	物・人・こと	N (指示対象) 通常は it, they を用いる	N, N(T, 指示対象) >N, N(T, 指示対象) this ... , these ...	N (指示対象) 通常は it, they を用いる	N, N(T, 指示対象) that ... , those ...		
	名詞句 人 (baby, child, 集合体) を含む					N 話題の中心の 名詞句の代わり	
	指示詞 (を受ける)					this · that	
	述べられていない 名詞, 副詞語句など					T+♡強調 強調構文	
	(形式的な用法)			(記号は、なし) 代用語 that of... (人以外) those of ... those who ... (人) 関係代名詞		>that ... >(for...) to ... >ing (...) >wh ... (♡)>if ... 予備の it	
明示しない ●	(慣用的な用法など) 判断を保留する場合にも					● 慣用句などで	

T: text (文章) の略 CI: clause (節) の略 N: noun (名詞) の略

- ・一般の **you**, 一般の **they** の記号は **G** (Generic の略) とする。関係者の **they** では (**G**) とする
- ・ **he · she · they** が「場面からそれとわかる人」を直接さす特別な状況の場合の記号は Ⓝ人 とする
- ・ **we** が相手を含むことを明示する記号は +you とする (相手を含まないことを特に示したい場合は -you が使える)